

④ 大山ワワワの輪を広げる会 (大山町)

2015年、大山町合併10周年を記念して制作した「大山ワワワ音頭」を広めようと、地元有志により発足。多様なイベントで町民たちと一緒に踊り、地域を元気にする県民の優れた地域づくり活動を表彰する「令和7年度鳥取県ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰」の一般部門で優秀賞を受賞した。

大山ワワワ音頭は、各地で音頭作りを手がけるアーティストのチャッキー松本さんと、地元音楽家のポール川中彰平さんを迎えて制作した。旧中山、名和、大山



地元の踊りや音頭を次世代に

地域の伝統踊りや大山ワワワ音頭を皆で楽しんだ大山おどる祭り



3町の象徴的な風景を歌い上げ、合併して誕生した新たな大山町の一体感を表した音頭に仕上がった。

同音頭のお披露目イベントで松本さんが口にした「100年後も踊り継がれる音頭にしたい」という言葉に感銘を受けた地元有志が「大山ワワワの輪を広める会」を立ち上げ、公民館活動として踊りの練習をしたり、保育園や小学校、老人ホームを訪ねて一緒に踊

ったり、地道に活動が続け普及を図った。

昨年9月には10年間の活動の集大成として「大山おどる祭り」を開催。同音頭をはじめ、いさい踊りや名和小唄、大山ばやしなど旧3町に伝わる踊りと音頭を、100人を超える参加者皆で楽しんだ。各保存会や活動団体によるレクチャータ임을設けることで初心者でも輪に入りやすい環境をつくり、世代や地域を越えた交流が生まれた。

現在は大山ワワワ音頭を含め、地元につながる踊りや音頭を次世代につなげようと活動を続けている。メンバーの薮田佳奈さんは「一緒にやってみることで、伝統的な踊りの面白さや格好良さを感じられる。これからも地域にとられず、踊りの輪を広げていきたい」と話した。